

【参考】第7次大阪府保健医療計画 基準病床数の算出要件

(1) 一般病床

【算出式】

$$\frac{\text{性別・年齢階級別人口} \times \text{性別・年齢階級別一般病床退院率} \times \text{平均在院日数} + \text{流入入院患者数} - \text{流出入院患者数}}{\text{病床利用率}}$$

【算出要件】

項目	数値	出典・備考
性別・年齢階級別人口	2015年国勢調査	
	【参考】将来推計（2020～40年） 国立社会保障・人口問題研究所推計人口	
性別・年齢階級別 一般病床退院率	国指定	
平均在院日数	14.7日	国指定
流入・流出入院患者数	1日当たりの入院患者数（H28病院報告）×流入（流出）率※ ※厚労省データブック（H27年度NDBデータ（国保、後期高齢者レセプト「一般入院基本料」）	
病床利用率	豊能 79.4% 三島 83.2% 北河内 80.8% 中河内 79.5% 南河内 77.0% 堺市 79.9% 泉州 79.3% 大阪市 77.3%	厚生労働省告示（一般病床76%）。 ただし、圏域の病床利用率（平成28年度病院報告）が、同告示を上回る場合、圏域の病床利用率を使用。

(2) 療養病床

【算出式】

$$\frac{\text{性別・年齢階級別人口} \times \text{性別・年齢階級別療養病床入院受療率} - \text{介護施設・在宅医療等対応可能数} + \text{流入入院患者数} - \text{流出入院患者数}}{\text{病床利用率}}$$

【算出要件】

項目	数値	出典・備考
性別・年齢階級別人口	2015年国勢調査	
	【参考】将来推計（2020～40年） 国立社会保障・人口問題研究所推計人口	
性別・年齢階級別療養病床入院受療率	国指定	
介護施設・在宅医療等対応可能数	新たなサービス量（地域医療構想で推計した療養病床の医療区分Ⅰの70%と入院受療率地域差解消分）から、療養病床の転換見込み分※を減じた値。 ※医療療養病床：転換調査（平成29年8月）により把握した数 介護療養病床：全数	
流入・流出入院患者数	1日当たりの入院患者数（H28病院報告）×流入（流出）率※ ※厚労省データブック（H27年度NDBデータ（国保、後期高齢者レセプト「療養病棟入院基本料」）	
病床利用率	豊能 91.3% 三島 90% 北河内 90% 中河内 90.7% 南河内 90% 堺市 93.0% 泉州 90% 大阪市 91.4%	厚生労働省告示（療養病床90%）。 ただし、圏域の病床利用率（平成28年度病院報告）が、同告示を上回る場合、圏域の病床利用率を使用